

ポリアクリルアミド^{※1}・フィラー使用についての注意

韓国美容外科学会 (Korean Academic Society of Aesthetic and Reconstructive Breast Surgery) が、Archives of Aesthetic Plastic Surgery 誌 2015 年 10 月号に掲載された論文^{※2} を受けて出された声明について、本学会の見解を会員に示します。

記

日本においても、すでに多数のクリニックがアクアフィリングならびにアクアリフトを用いた豊胸術を行っています。これら2製品は、FDAでは承認されていませんが、顔面に対する使用のみKFDAで承認されています。

論文に示された見解は、これまでの乳房に対する様々な注入物によって引き起こされた合併症の懸念から、同学会の見解としてこれらの懸念が解消されるまで、本製品の使用に反対する主旨であります。

長期間の安全性に関する十分なエビデンスが蓄積し立証されることが重要であることはいうまでもありません。

この見解を踏まえ、日本美容外科学会(JSAS)理事会において、「少なくとも現時点においてアクアフィリングならびにアクアリフトを用いた豊胸術を推奨することはできない。現在この治療法を行っている医療機関においては、これらの現状を十分理解し、かつ長期的な経過観察を行っていくと同時に、その結果を公表していく必要がある。また、治療を行う上では上記のような懸念すべきリスクを含めた十分なインフォームドコンセントを行うことが重要である」という見解に至りました。

以上

※1 現在はアクアフィリング・アクアリフト(現アクティブジェル)はポリアクリルアミドとは分子構造も物理科学的特性も異なるものであることが判っております。

※2 「Correcting shape and size using temporary filler after breast augmentation with silicone implants (シリコーンインプラントによる豊胸術後の充填剤の一時的注入による形状及び大きさの修正)